スマート農業のためのリモートセンシング技術に関する研究会

―農業を楽しく、楽して続けるためのドローンの活用―

日時：2020年1月25日（土）

会場：千葉大学園芸学部松戸キャンパス戸定が丘ホール

千葉県松戸市松戸648、最寄り駅：JR常磐線、地下鉄千代田線松戸駅

http://www.h.chiba-u.jp/campus\_map/index.html

主催：千葉大学環境リモートセンシング研究センター

開催趣旨：

　ドローンの登場でカメラやセンサーを搭載するプラットフォームが多様化したことにより、リモートセンシング技術はますます農業における多様な要求に応えることを期待されています。画像から情報を抽出する技術的基盤は衛星データ活用の歴史があるため、次のステップでは現場の要求とリモートセンシング技術のマッチングを行い、個々の要求に応える技術的手続きを作り上げる必要があります。そこで、リモートセンシング分野と農業分野の実務者、研究者が一堂に会し、情報を交換することにより、ドローンを活用してスマート農業を達成するための技術的課題、新たな応用課題、等について情報交換、議論を行うための研究会を開催します。

プログラム：

10;00　　　　　 受付開始

10:30-10:40 開会挨拶 近藤昭彦1

10:40-11:00 ドローンおよび地上から同時観測した水稲のNDVIに関する検討（田中　圭）2

11:00-11:20 生育期間の温暖化が水稲の玄米タンパク含有率に与える影響（濱　侃）3

11:20-11:40 スマートフォンカメラを用いた水稲生育量の診断について（望月　篤）4

11:40-12:00 ドローンを用いた水稲生育量のモニタリングとその活用（佐々木次郎）5

12:00-13:00 　　昼食

13:00-13:20 草地管理における近接リモセンを用いた取り組み状況と課題 (稲葉　真）6

13:20-13:40 緑肥作物のリモセンによる生育量の診断について （塚本崇志）4

13:40-14:00 サツマイモリモセンの目的と経過等について (高野幸成）4

14:00-14:20 サツマイモの生育モニタリング報告（松岡延浩)9

14:20-15:00 　　休憩　　実演：　格安RTK-GNSS機器の作成と精度テスト (田中圭・濱侃)2,3

15:00-15:20 ダイコンの生育予測の目的と経過等について (小林孝太郎)4

15;20-15:40 兵庫県淡路島におけるドローンを活用したレタスの生育出荷予測 (中野伸一)7

15:40-16:00 リモートセンシング技術を活用したキャベツ圃場の生育診断への取り組み (栃原美咲)8

16:00-17:00 総合討論

17:00-17:10 閉会挨拶 松岡延浩9

18:00-20:00 懇親会（会場周辺にて）

1: 千葉大学環境リモートセンシング研究センター

2: (財)日本地図センター

3: 横浜国立大学

4: 千葉県農林総合研究センター

5: 宮城県古川農業試験場

6: 富山県農林水産総合技術センター

7: 兵庫県淡路農業技術センター

8: 福岡県農林業総合試験場

9: 千葉大学大学院園芸学研究科

注）プログラムは変更される場合があります。